

幻想的な「かがり火で楽しむ能・狂言」を、日本を代表する演者が披露

昨年5月に玉丘史跡公園で「加西市播磨国風土記1300年祭」が開催され、『播磨国風土記』の根日女伝説を題材に、能『針間』（哲学者の梅原猛さん創作）、狂言『根日女』（狂言師の野村萬斎さん監修）が披露されました。あれから1年。藤田六郎兵衛さんや観世鍔之丞さんの協力を得て、玉丘史跡公園を舞台に「第1回加西薪能」を開催します。かがり火に浮かび上がる幻想的な世界をお楽しみください。

鑑賞いただくには、チケット（自由席）が必要となります。また、加西市こども狂言塾による狂言『根日女』（鑑賞無料）も上演します。詳しくは、広報かさい3月号と共に配布するチラシをご覧ください。



■日時／5月4日（水・祝）16:30～19:45 ※雨天中止
■場所／玉丘史跡公園内芝生広場
※会場へは無料シャトルバスが走ります。

■スケジュール
16:30～17:15 狂言『根日女（ねひめ）』
17:30～ 開場
18:00～ 開演・火入れ式
18:15～18:45 狂言『靱猿（うつぼざる）』
18:45～19:45 能『羽衣（はごろも）』

チケットの販売

■販売席数／先着1,200席 ■販売日／3月1日（火）～
■座席料金
前売券／一般3,000円 高校生以下500円（税込）
当日券／一般3,500円 高校生以下500円（税込）
※4歳未満無料（席なし）。席に座る場合はチケットが必要。
※前売券が売り切れの場合、当日券の販売はありません。
■販売場所／市民会館、善防・南部・北部公民館、地域交流センター、イオン加西北条店、西村書店、毛利書店、北条楽器、チケットぴあ、ローソンチケット
■チケットに関する問合せ／市民会館 ☎43-0160

狂言『根日女（ねひめ）』 無料公演

演者／加西市こども狂言塾

鑑賞の手引き／野村萬斎さんに根日女伝説を題材にした狂言を制作していただき、「ふるさとの狂言」として昨年5月の1300年祭で誕生しました。根日女伝説とは、播磨国賀毛（かも）の里を治めていた国造許麻（くにのみやつここま）の娘の根日女が、皇位継承を巡った争いから逃げてきた兄弟の命を救ったことから恋が芽生え、愛が育まれた物語です。野村さんと万作の会、こども狂言塾応援隊の指導のもと、1年間お稽古を重ねた子どもたちが演じます。



昨年5月に演じた狂言『根日女』

狂言『靱猿（うつぼざる）』

出演予定者／茂山七五三、茂山逸平 ほか

あらすじ／大名は召使いを伴って狩りに出かけます。道中で小猿を連れた猿曳き（猿回し）に出会い、「猿皮を鞆（矢を入れる筒型の容器）の装飾にしたいので猿をよこせ」と命じます。猿曳きが断ると弓矢で威嚇し無理やり承諾させますが、小猿の幼げな姿を見た大名は哀れに感じて・・・。



能『羽衣（はごろも）』

出演予定者／観世鍔之丞、大槻文蔵、藤田六郎兵衛 ほか

あらすじ／春の朝、三保の松原に住む漁師が、松の枝に掛かった美しい衣を見つけます。すると、天女が現れて「羽衣を返して」と頼みますが、漁師は聞き入れません。「羽衣がないと天に帰れない」と悲しむ天女の姿に心を動かされ、天女の舞を見せてくれれば、その代わりに衣を返そうと提案します。羽衣を着た天女は、さまざまな舞を披露し、彼方の富士山へ舞い上がり消えていきました。



野村萬齋さんによる狂言『根日女』お稽古を公開

問合せ／文化・観光・スポーツ課 ☎42-8756
FAX42-8745 bunka@city.kasai.lg.jp

毎年5月に舞台上で野村萬齋さん監修・演出の狂言『根日女（ねひめ）』を演じることも狂言塾の第3期生を、3月18日（金）まで募集しています。3月15日（火）には、野村萬齋さんによるお稽古を公開します。参加を検討している小学生が対象で事前予約が必要です。



昨年のお稽古の様子

- 日時／3月15日（火）18:00～21:00
 - 場所／申込時にお知らせします
 - 対象／子ども狂言塾の参加を検討している播磨地域の小学3～5年生（3月1日現在）
 - 申込／3月14日（月）までに電話で申し込み
 - 申込先／文化・観光・スポーツ課 ☎42-8756
- ※お稽古は、平成28年4月から29年5月までの月2回程度（19:00～21:00）。

100年前、加西に捕虜がいた事実

問合せ／生涯学習課埋蔵文化財整理室
☎42-4401 shishi@city.kasai.lg.jp

青野原俘虜収容所開設100年記念シンポジウム「加西に捕虜がいた頃－青野原収容所と世界－」

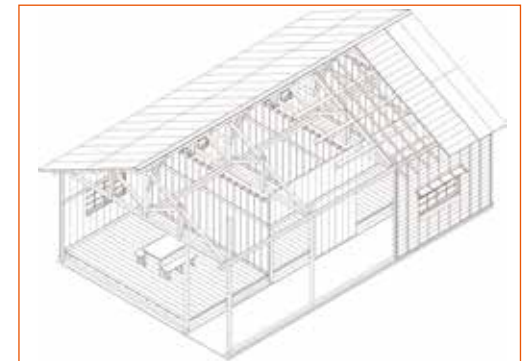
青野原町には、第一次世界大戦が始まって約1年が経過した大正4年（1915年）9月に捕虜収容所が設置されました。

青野原収容所には、他の収容所にはないという日本の捕虜収容所体系における独自の役割がありました。その結果、収容所という閉じられた世界の中に、中央ヨーロッパの多民族社会が箱庭のように出現することになったのです。

収容所は、遠足や労働、物品の売買など様々な出口を通じて地域社会や住民とつながり、また様々な回路を通じて広く世界につながっていました。加西に突如出現した「箱庭の多民族社会」で展開された「開かれた日常生活と世界史の断片」をお楽しみください。



当時の収容棟（青野原町公民館付近から撮影されたかと推定）



復元された将校用の兵舎図

- 日時／3月5日（土）13:00～16:00 開場12:00
- 場所／アステアかさい3階多目的ホール
- 講師／大津留厚さん（神戸大学大学院人文学研究科教授）、ベルトラニチュ・ボシティアンさん（城西大学現代政策学部准教授）、尾瀬耕司さん（神戸建築文化財研究所）、萩原康仁（加西市教育委員会）
- 定員／当日先着90人 ■参加費／無料

市内企業の就職情報をインターネットに掲載

問合せ／加西市雇用開発福祉協議会事務局
（加西商工会議所内）☎42-0416

来年4月に就職を考えている大学生へ「加西市企業特集」をご覧ください

加西市は商工会議所と連携して、加西市出身や市外からの移住者の市内企業への就職を増やし、定住人口の増加を図るために、平成29年4月採用を行う市内企業18社の採用情報をインターネットの就職情報サイトに掲載しています。詳しくは、市ホームページの「キャリアス就活2017」のバナーから「加西市企業特集」をご覧ください。

加西市にはモノづくりに携わる企業が多数あり、高度な技術力でグローバルに活躍し、商業やサービス業とともに国内外の産業振興に大きく貢献しています。このような企業の情報を、より多くの大学生に発信するために、インターネットの就職情報サイトに掲載しています。



加西市企業特集